

クーデターから1年半
報道されないミャンマーの今

2011年に軍事政権から民主化に移行したと思われたミャンマーですが、政府の少数民族への扱いや、民族反乱への対応、宗教的な衝突への批判が続き、昨年2月にミャンマー国軍(以下、国軍)がクーデターを起こし、再び政権を掌握しました。市民はデモを起こし、公務員や医療関係者の職務のボイコット、国軍の蛮行をSNSで拡散するなど抵抗を続けています。クーデターから1年半、日本での報道は少なくなりましたが、未だにミャンマーの情勢は不安定なまま。日本は第二次世界大戦中、ミャンマーの独立運動を支援した歴史があります。日本ともつながりが深い、ミャンマーの現状について、迫害された市民を支援する方々からお話を聞きました。

食材のお届けだけじゃない!
パルシステム東京の
社会活動をご紹介します。



人口 約5500万人
広さ 日本の1.8倍
首都 ネーピードー
(2006年にヤンゴンから遷都)

日本から飛行機で6.5時間。仏教徒が9割を占め、ミャンマー語が公用語ですが、多民族国家のため、民族によっては言語が異なります。

日本で人道的支援をしている
レー・レー・ルインさん

本業と店舗経営を両立する事で、金銭的・精神的・肉体的なストレスで何度か倒れそうになったり、国際社会の関心が少なく、私たちだけでは国内の人々に大した支援ができていないと落ち込んだりする時があります。そんな時には、民主化を取り戻すべく一心に活動を続けている母国の青年らからの言葉に勇気づけられたり、軍の弾圧を受けて居場所を失った避難民からの「革命が成功したら、今まで受けた温かい支援を忘れず、いつか恩返しをしたい」という言葉が私を強く支えてくれました。



レー・レー・ルインさん

クーデターが発生した2021年2月以降、国際社会がミャンマーのことを忘れずに関心を持ち続けられることを目的に、ミャンマー料理店『Spring Revolution Restaurant (SRR)』を東京・池袋駅近くに開店。売上げの一部がミャンマーの民主化支援に役立てられます。本業としての仕事と並行して、様々な人道的支援活動を行っています。

日本の人々には、今ミャンマーで何が起きているのかを知り、当たり前と思う平和の大切さを改めて考えて欲しいのです。国籍、宗教、文化が異なるだけで、世界中の一人一人の命は平等です。平和を手に入れるために戦っている人々の存在を決して忘れないでください。



SRRではミャンマーの色々な料理が食べられ、売上の一部が民主化のための寄付に使われる



池袋駅から徒歩数分の所にあるSRR(スプリングレボリューション)

特定非営利活動法人 パルシック (PARCIC)

世界各地で、市民による国際協力活動をしているNGO。ミャンマーでは国軍に反発したために、職や収入を失った人びとへの生活支援をしている。

活動の詳細は
こちらから



国軍による虐殺

とある3歳の女の子は、母親がレイプされ殺害された後に、胸を刺され殺されました。また、5歳の男の子は、国軍が設置した地雷で亡くなりました。市民の犠牲者は今も増え続けています。1年半で約100万人が家を追われ、避難先でも空爆の脅威に晒されています。

パルシックの支援活動

現地では、避難してきた人同士で、過酷な生活環境の中でも子どもたちに勉強を教えたり、病人の看病をしたりしています。パルシックは現地の支援団体の協力を得て、非暴力による軍政への抗議※①により職を失った人たちに、現金給付や医薬品・食糧支援などを実施してきました。

※①市民不服従運動: 暴力を用いず、軍事政権への協力を拒む運動。SNSなどを通してミャンマー全土に広がり、参加した人は公務員、医師、看護師、教員、研究者など、約40万人以上にのぼるといわれている。

寄付を受け取った方の声: 2児の母親(34才)

「今の軍事体制が続く限り、私たちは民主主義や自由を手にすることは出来ません。私たちには未来の世代への責任があるのです。無収入での生活はとても大変ですが、私は絶対に諦めません。この危機が終わるまで、どうか支援を続けてください。」

私たちにできること

現在も、国軍士官を留学生として受け入れる等、日本も加害の一端を担っています※②。今こそ日本の市民として連帯を示し、一緒に立ち上がることが大事ではないでしょうか。パルシックでは、今後も市民の方々への支援を続けていきます。

※②: 防衛省は9月20日、ミャンマー国軍から防衛大学校などへの留学生の受け入れを来年度以降、停止すると発表した。



国内避難民の子どもたちにボランティアで勉強を教えるのは、同じく国内避難民の元教師
©特定非営利活動法人パルシック



支援物資を配付する様子
©特定非営利活動法人パルシック



ある国内避難民キャンプの様子
©特定非営利活動法人パルシック



バガン遺跡

この写真は何か知ってる?『バガン遺跡』といって、1000年ほど前に作られたミャンマーの仏教遺跡なんだよ。お釈迦様の遺骨や仏教の経典が治められているパゴダという建物が3000個近くもあって、2019年に世界遺産に指定されたんだ。近くには自然豊かな環境が広がっていて、エコツーリズム(自然や文化を守りながらの観光)としての活用も期待されていたけれど、コロナやクーデターの影響でいったんストップに。ミャンマーが平和になったら、ぜひ行ってみたいね。



エコ&ピース
ナビゲーターの
テーマを募集!
こちらから答えてね。



私たちのすぐそばで！ すごく身近な環境問題 『プラスチックごみ』とは？

エコ&
ピース
ナビゲーター

2022年
10月号
Vol.34

〈環境編〉

このままでは プラごみの問題点

私たちの暮らしを豊かにしてきたプラスチックですが、毎年約800万tのプラスチックが海に流出し、2050年には海の魚の量を上回ると言われています。* 街で捨てられ、適切に処理されなかったプラスチックごみは排水溝などから川や海へと流出します。劣化して細かくなっても分解されずに漂い続け、魚や鳥の体内から見つ

かっています。ヒトはプラスチックを摂取しても排せつされるので大丈夫と言われてきましたが、プラスチックに吸着された有害物質や添加剤の人体への影響、空气中を漂うマイクロプラスチックを人が吸引する可能性など、ヒトへの健康を懸念する研究者もいます。 ※世界経済フォーラム報告書

何ができる？ プラごみを減らすために私たちができること

2019年のG20大阪サミットで「2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染ゼロ」を目指す目標が共有され、世界的な動きとなっています。私たちには何ができるのでしょうか？「ポイ捨てをしない」、「プラスチックの使用量を減らす」、「分解されるプラスチックを使う」などは身近な取り組みです。また、パルシステムでは「リユース・リサイクル品の利用と回収」や「プラ削減マーク商品の利用」、「プラスチック問題学習会の開催」などを広め、より多くの人と取り組みができるようにしていくことも大切と考えています。



わたしたち、 何ができるかを学んでます!!

●出前講座に参加

2022年度は8月までに8委員会ではプラスチック問題学習会を開催。私たちのできることを一緒に考えました。計107人が参加。



職員向け！
配送センター（八王子・足立）
でも実施しました！
約50人が参加。



●オンラインで参加

オンラインリンクシェア（7月29日～8月14日）
『マイクロプラスチック・ストーリー
～ぼくらが作る2050年～』

ニューヨークの小学校に通う5年生たちがプラスチック汚染問題を学び、問題の根幹が何かを問いただし、解決に向かっていくまでの2年間を追った長編ドキュメンタリー映画のオンラインリンクシェアを実施。106組（パルシステム東京）が視聴。



「はじめよう！NO！海のプラスチックごみ」トークイベント（8月5日）

オンラインで集まった子どもたちがプラスチック問題で自分たちに何ができるかを話し合いました。129組（パルシステム東京）が参加。



プラリサイクル大作戦2022（6月5回～8月1回）

6ケタ注文番号でプラスチック袋を返す宣言！9,735人（パルシステム東京）が参加。

●専門家から深く学ぶ機会も

2021年度は、全国100河川以上のマイクロプラスチック調査や研究をされている東京理科大学理工学部土木工学科教授二瓶泰雄氏を講師に招き、学習会を開催。海だけではなく陸域のごみ問題などについてご講演（オンライン）いただきました。2022年度は10月22日（土）に開催予定です。



発見!! まだまだ進化中!! パルシステムのプラ削減!!



お料理セットレーが茶色くなった??



紙製トレーに変えて、
年間換算で
約146tの削減見込

♥ 紙製トレーもリサイクル“トレー to トレー” トレーの回収にご協力ください。

カタログ袋の手触りが変わった??

カタログ・チラシ用の
まとめ袋の材質を変更
従来より38%削減



♥ カタログ袋もプラスチック資材にリサイクル カタログ袋の回収にご協力ください。

ストローがなんだか違う??



ストローを紙に変えて、
年間換算で
約3.9t削減

動画でも
ご紹介



YouTube
パルシステム公式

動画内のパッケージはリニューアル前のものです。

プラ削減マークを知っていますか??

パルシステムでは、323品目にプラ削減マーク※がついています。また、商品包材のみならず、お届けの際に使用する物流資材についても環境にやさしい材質への切り替えに取り組んでいます。 ※容器包装や付属（ストローなど）のプラスチック削減に取り組んだ商品にこのマークがついています。



告知

オンライン

私たちの身近にある原発 東海第二原発と再処理施設学習会

茨城県にある東海第二発電所（東海第二原発）のことを知っていますか？

東京の近くにある日本初の大規模原子力発電所です。既存原発の運転期間の延長や次世代型原発の建設に関するニュースを目にする昨今、今いちど身近な原発・再処理施設について、学び、考えてみませんか？

■日 時：2022年11月23日（水・祝）10:30～12:00

■会 場：オンライン（Zoom）・定員50名

■講師名：小川 仙月 氏（脱原発ネットワーク茨城共同代表）

■申込み：パルシステム東京HPイベント申し込みページ

URL: <https://www.palsystem-tokyo.coop/event/93266/>

■締 切：11月9日（水）12:00

お申込は
こちら！



おがわ せんげつ
小川 仙月 氏

裏面もご覧ください!